

## 蒸気発生器伝熱管の応力評価結果

原子力発電所	基準地震動での発生応力値 (A)	弾性設計用地震動での 評価基準応力値(B)	判定	
	MPa	MPa		
川内原子力発電所 1号機	332	263	A>B	×
川内原子力発電所 2号機	316	263	A>B	×

注)ここでの応力＝膜応力＋曲げ応力

蒸気発生器を含むSクラスの各施設は、「基準地震動及び耐震設計方針に係る審査ガイド(2013年6月、原子力規制委員会決定)」により「基準地震動による地震力に対してその安全機能が保持できること。また、弾性設計用地震動による地震力又は静的地震力のいずれか大きい方の地震力に対しておおむね弾性状態に留まる範囲で耐えること。」が求められている。